

イエスの証しとしての諸地方召会

聖書：啓1:1-2, 9, 11-13, 20. 22:16前半

I. 啓示録は、キリストご自身の啓示であるだけでなく、召会の中にある、また召会との一の中にあるキリストに関する啓示でもあります——啓1:1-2, 11. 22:16前半. エペソ5:25, 32:

A. わたしたちは啓示録において、キリストが彼の召会と共にあり、また召会の中にあるのを見ます——1:11-13。

B. 啓示録は、キリストに関する啓示として、イエスの証し、すなわち、召会を提示しています——1, 9, 11節. 22:16前半:

1. イエスは神の証しであり、神を表現します。神は、彼の証しの拡大、すなわち、召会を必要とします——I コリント12:12:

a. 使徒ヨハネは、諸召会の間にイエスを見ました——啓1:11-13。

b. キリストは神の証しであり、召会はイエスの証しです——ヨハネ1:18. 5:31-37. 8:14. 啓1:2, 5, 9。

c. 神が何であるかは、イエスにおいて完全に表現されています。キリストが何であるかは、召会において完全に表現されなければなりません——エペソ3:21。

2. 今日、神は一つの団体の表現、すなわち、召会を持っています。召会は、神の表現であるイエスの証しです——コロサイ1:15, 18. 2:2. エペソ3:4, 6:

a. 神の表現は、分けることができません。神は唯一無二です。ですから、彼の表現も唯一無二でなければなりません——ヨハネ17:22. エペソ4:3-6。

b. 神の表現が各地のどこにあっても、それは唯一無二でなければなりません——I コリント1:2. 12:27. 啓1:11。

II. 啓示録は、イエスの証しとしての諸召会に関する書です——啓1:1-2, 9, 11. 22:16前半:

A. イエスの証しは、個人のクリスチャンではありません。それは諸地方召会、すなわち、実行上の召会です——1-2, 9, 11:

1. わたしたちのいる地方の人々にイエスを示すためには、イエスがだれであるかを証しする地方召会が必要になります。こういうわけで、わたしたちの地方における召会は、キリストのかたち、表現、現れ、美德を担うべきです——コロサイ1:15. 3:10。

2. 諸地方召会はすべてを含むキリストの表現ですから、それらはイエスの証しです——11節. 啓1:2, 9, 11。

3. 召会はイエスの証しとして、主イエスがご自身によってではなく、彼の御父によって人として生きたことと、サタンが彼の中では何も持っていなかったことを証しします——ヨハネ5:17, 19, 30. 6:57前半. 14:30。

B. 正当な召会生活の中で、御子の栄光が現されます。それによって、御父の栄光が現されます——エペソ3:21. ヨハネ12:23. 13:31-32. 17:1, 22 :

1. 召会生活は、御子の栄光を現すことです。御子の栄光が現されるためには、実際的な召会生活が必要になります——エペソ3:21. I テモテ3:15-16。

2. わたしたちが真の一を実行するとき、御子の栄光が現されます。そして、御子の栄光が現されることにおいて、御父の栄光が現されます——ヨハネ17:1, 5, 22。

3. わたしたちはみな見る必要がありますが、実際的に言って、ヨハネ第17章における御父に対する主の祈りは、召会生活のための祈りです。

4. 召会生活の中で御子の栄光が現されるためには、御子の信者すべての真の一が決定的に必要とされます。もし信者たちの間に一がなければ、召会生活はありません。もし召会生活がなければ、御子の栄光が現される実際的な方法はありません——1, 21-23節. ローマ15:5-6. I コリント1:2, 10。

III. 啓示録の最初の三章の中心的概念は、七つの燭台が七つの地方召会であって、神の表現になるということです——啓1:11, 20 :

A. 金の燭台としての召会は、イエスの証しを担います——2, 9節. 20:4 :

1. イエスの証しとは、御子はその霊によって、御父と共にやって来て、地上で生き、十字架上で死なれ、宇宙を一掃し、神聖な命を解き放ち、死人の中から復活して、命を与える霊に成ったことを証しすることです。この霊は、御子として、御父と共にやって来て、神性、人性、人の生活、十字架、復活と複合され、神聖な属性と人性の美德のすべてを含んでいます——ヨハネ10:38. I コリント15:45。

2. そのような複合の証しが、イエスの証しです。そしてこの証しには、一つの象徴、すなわち、金の燭台があります——啓1:12, 20。

B. 諸地方召会は金の燭台として、唯一の燭台であるキリストの複製です——11-12, 20節 :

1. 出エジプト第25章では、神の具体化また表現であるキリストは、唯一の燭台によって予表されています。しかし、啓示録では、この燭台は複製されています。それぞれの燭台は、出エジプト第25章で啓示されている燭台の複製です。

2. すべての燭台あるいは地方召会が加えられて一つになると、それらはキリストの増殖、すなわち、三一の神の増殖した具体化また表現であり、イエスの証しとなります——啓1:2, 9, 11-12, 20。

C. 金の燭台が表徴していることは、三一の神の具体化また表現としての諸召会が、

ともし火としての七倍に強化された神の霊をもって、輝いて、イエスの証しになるということです——20節. 4:5 :

1. ともし火としての諸地方召会は、各都市でイエス・キリストの証しを担い、地方において、しかし集合的に輝きます——1:2, 9, 20. 20:4。
 2. それぞれの地方召会は、金の燭台であり、ともし火としての七倍に強化された神の霊を持っており、この暗い時代において、その地方から、イエスの証しを輝かします——2:1, 5。
- D. 啓示録第1章における燭台のしるしが示していることは、諸召会が本質、現れ、表現において同一であるべきであるということです——1:20 :
1. それぞれの地方召会の実質は、父なる神であるべきです。それぞれの召会の形、現れは、キリスト、すなわち、三一の神の具体化また表現であるべきです——Ⅱペテロ1:4. ヨハネ1:1, 14. コロサイ2:9。
 2. 諸召会は、すべてを含むキリスト以外の現れを持つべきではありません。もしわたしたちの召会の中に、わたしたちを他の召会と区別する違いがあるなら、わたしたちは間違っています——3:10-11。
 3. すべての地方召会は、同じであるべきであり、同じ証しを担うべきです。それは、その霊による、御父と共にある、御子の証しです——ヨハネ14:10-11, 17。
 4. 「わたしは、すべての地方召会が同じように見える日がやって来ることを望んでいます。その日がやって来るとき、主が戻ってこられることを、わたしは信じています」(召会——その霊の複写、第3章)。

©2008 Living Stream Ministry